

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 大腿骨近位部骨折患者の術前骨格筋 CT 値と筋断面積による骨格筋評価は骨折重症度に影響を与えるか？
	●研究の対象 2024 年 6 月～2026 年 3 月に大腿骨頸部骨折または大腿骨転子部骨折と診断され、当院で手術を受けられた方 80～100 名
	●研究の目的 大腿骨の骨折は、一度でも起こすと日常生活の動作能力が著しく低下します。そこで、リハビリテーションでは効率的にかつ有効に個別リハビリテーションを行うことで身体機能の改善をお手伝いすることができます。これまでは主な検査は骨密度が中心でしたが筋肉の検査も重要であるといわれるようになりました。この研究では患者さんのカルテデータから入院時に撮影されたCTを用いて骨折の重症度に影響を与える明らかにすることで、入院中のリハビリテーションをしっかりと行う意義を見出すことができると考えています。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 2030 年 3 月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 情報：年齢、性別、身長、体重、病歴、骨密度、CTによって撮影された画像、骨折の状態 など

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 山内克哉</p>
<p>《外国にある者に対する試料・情報の提供》</p>	<p>この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>国立大学法人浜松医科大学</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>《問い合わせ先》</p>	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

部署名： リハビリテーション部

担当者： 細川真登

TEL： 053-435-2746

E-mail： m-hosokawa@hama-med.ac.jp